

# おかざき 市議会だより

12月定例会

平成21年2月1日発行

平成20年8月末豪雨災害対策を始め  
市民生活に密着した活発な質疑を展開



No. 146

## 目次

- 市長提案説明…………… 2
- 議案審議…………… 3
- 討 論…………… 4
- 議案・請願・陳情審議結果…………… 5
- 一般質問…………… 6～11
- 採択請願・3月定例会予定…………… 12

# 市長提案説明



平成20年8月末豪雨では、時間雨量が147mmの記録的な豪雨となり、2名の方が亡くなられ、床上浸水が千棟を超えるなど東海豪雨を大幅に上回る本市水害史上最大の浸水被害となった。

この豪雨により被害を受けられた市民の方に改めてお見舞いを申し上げる。また、被災地での応急復旧などにご尽力いただいた関係者及び、県内外から駆けつけていただいたボランティアの方並びに義援金や寄付金を寄せてくださった方など、多くの支援に深く感謝する。

災害発生後は直ちに災害見舞金の引き上げを行うとともに、関係

経費の補正予算を組んで災害復旧に当たってきた。その結果、見舞金については11月上旬に支給が終了し、伊賀川沿いの民家の移転補償や防災ラジオの配付、市道の復旧等は年内に終了の見通しで、被害の大きかった前田川の改修は年度内に、三河橋については22年3月末の完成を目標としている。

伊賀川、砂川、鹿乗川、占部川、広田川については、県が緊急整備の検討をしていることから、今後は、浸水対策事業を進めるとともに災害時の体制を総点検し、対策の強化を図っていく。

## 経済情勢

好調に推移していた我が国の経済は、アメリカ経済の後退に伴い、後退局面入りを余儀なくされ、世界的にも金融不安が広がっている。

県は、21年度の税収が3千億円近い過去最大の減収との見方を示している。本市においても市税等の大幅な減収が見込まれ、21年度の予算編成を進めるうえで、市民サービスの維持・向上のために市民ニーズを的確にとらえ、いままです以上に徹底した見直しが必要と考えている。

## 主要事業

15年度から市民と協働で事業を進めてきた「りぶら」が11月1日にオープンし、開館1カ月の来館者は16万5千人を超えた。この施設は、図書館を核に市民活動支援、文化創造、交流の四つの機能を併せ持つ生涯学習施設であり、中心市街地活性化の拠点施設の機能も有しているため、滞在型図書館として多くの市民が集うことで中心市街地の活性化を期待している。

## 諸議案

条例議案では、制定条例として、21年度の固定資産税・都市計画税の納期を変更する条例を、改正条例として、市長公室や子ども部を設置する条例など17件と、3件の廃止条例を含め21件を提案している。その他の議案としては、指定管理者の指定を行う議案など9件を提案している。

補正予算は、一般会計では5億970余万円の増額、特別会計が5億3140余万円の減額、また、企業会計は3930余万円の増額補正である。

## ○12月定例会の動き

2日	本会議 開会、会期決定、市長提案説明
3日	本会議 一般質問
4日	本会議 一般質問
5日	本会議 一般質問
9日	本会議 議案説明、総括質疑、委員会付託
11日	経済建設委員会 福祉病院委員会
12日	環境教育委員会 総務企画委員会
15日	議会運営委員会
17日	議会運営委員会
19日	本会議 委員長報告、質疑、討論、採決 追加議案の説明、質疑、採決 閉会

# 議案審議

## 公の施設に係る 指定管理者の指定

### ◇シビックセンター

指定管理者としてSPS・トーエネット・名古屋ビルサービス・ピーアンドピー共同事業体を指定するもの。

▼指定期間 平成21年4月1日から26年3月31日まで

質疑 指定管理者の候補者選定方法について伺う。

答弁 公募型プロポーザル方式で、基礎点や価格点及び業務要求水準を上回る提案に対する加算点の合計得点の高い候補者を選定する総合評価方式を採用した。特にコンサートホール事業の運営の考え方や交流広場事業など、シビックセンター特有の事業に関する事項に加算点を多く配分している。

## 条例の一部改正

◇食品衛生に係る営業の基準に関する条例

消費者に、より安全な食品等の提供を確保するため、食品等を取り扱う営業施設が公衆衛生上講ずべき措置の基準を見直すもの。

▼平成21年4月1日から施行

食品取扱者の感染症の予防等に係る改正規定（別表第6の4）は公布の日から施行

質疑 この条例を改正した背景及び狙いについて伺う。

答弁 期限表示改ざん事件など食の安全・安心をおびやかす事件が国内で頻発している。その原因として営業者及び従業員の法令に関する知識や順守意識の欠如、情報処理体制の不備が挙げられている。本条例の改正で、より厳格な衛生管理や法令順守意識の高揚を図り、安全な食品の提供を目指す。

### ◇体育館条例

新設する体育館の使用料等を定めるとともに、体育館の運営に関し必要な事項を見直すもの。

▼平成21年4月1日から施行

経過措置に係る附則第2項及び第3項の規定は、21年3月1日から施行

質疑 旧働く婦人会館が井田体育館として広く一般に開放されるが、申し込み方法は。また、有料化の理由について伺う。

答弁 利用の1カ月前の抽選会で利用調整を行う運用方法とし、申し込みは3月1日から岡崎市体育館で、4月1日からは井田体育館で受け付けていく。また、スポーツや体育振興を目的とした教育施設であり、常駐職員を配置し管理運営を行うことから他の体育館と同様に有料とする。

## 条例の廃止

### ◇公会堂条例

施設の老朽化等により、北部公会堂を廃止するもの。

▼平成21年4月1日から施行

質疑 本市の歴史を示す貴重な文化財として移築、復元を前提に保存されると聞かすが、今後の予定について伺う。

答弁 廃止後に、解体・保存をしていく方針だが、現段階では移築時期、場所、活用方法など具体的なことは決まっていない。今後は文化財保護審議会などの意見を聞きながら検討する。また、解体までの間は安全管理上従来どおりの警備を行い、火災や不法侵入の防止などに配慮していく。

平成20年度補正予算 12月補正後の予算額	一般会計 (12月補正額)	1,120億2,984万円 5億 979万円
	特別会計 (12月補正額)	854億9,274万円 △5億3,141万円
	企業会計 (12月補正額)	298億2,150万円 3,940万円
	計 (12月補正額)	2,273億4,408万円 1,778万円

## 委員会の活動(10月～11月)

常任委員会	総務企画委員会		福祉病院委員会	
	11月10日	委員会の所管事項	11月10日	委員会の所管事項
	環境教育委員会		経済建設委員会	
	11月11日	委員会の所管事項	11月11日	委員会の所管事項
議会運営委員会				
	11月20日	12月定例会の運営		

※ 常任・議会運営・特別の各委員会は、11月5日の臨時会に併せて正副委員長の互選を行いました。

討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派の代表者などが賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

市長提出議案

○『基本構想』

『自民清風会』は、「市民ニーズを的確につかみ、地域医療や地球温暖化への対策を主要課題としている。一つひとつの地域を大切にされた地域共生型都市構造を提言し、実情に沿った構想がまとめられていくことを評価する」と意見を述べ、賛成した。

『ゆうあい21』は、「地域の主体性が取り入れられ、地域に応じたまちづくりが示されており評価する。今後の事業実施に当たっては、実施できる事業から早期に推進していくことが肝要である」と意見を述べ、賛成した。

『公明党』は、「これまで積み重ねてきた市民協働の流れを更に進め、岡崎型の市民自治の実現を目標としたものと理解する。この構想に基づき、今後も市民が愛着と誇りを持つ、住み心地の良いまちづくりを進められたい」と意見を述べ、賛成した。

○『無所属・日本共産党』

は、「地域自治の構想について目的と位置付けが明確ではない。要求から発した地域づくりではなく、行政側からのトップダウン方式の発想である。住民によるまちづくりが行われるべき」とし、反対した。

○『事務分掌条例の一部改正』

『自民清風会』は、「効率的な財政運営につながるもので、大いに期待する。組織の編成に当たってはスクラップ・アンド・ビルドを意識し、簡素かつ効率的な事務事業の運営に努められたい」と意見を述べ、賛成した。

『ゆうあい21』は、「市長公室は重要課題の総合調整を、子ども部は子育ての推進体制の整備を、また、林務課は水源保全の重責を担っている。新設の部署は所期の目的を達成するよう努力されたい」と意見を述べ、賛成した。

『公明党』は、「子ども部の設置について評価する。今後、より市民に分かりやすい組織としてサービスの向上に努力されたい」とともに、更なる子育て支援施策を充実させるよう要望する」と意見を述べ、賛成した。

『無所属・日本共産党』は、「額田支所に林務課を設置することは評価する。しかし、総務課の廃止は額田地域を総合的に考える機能が低下し、過疎化を更に進める」とし、反対した。

○『下水道条例の一部改正』

『自民清風会』は、「受益と負担の適正化を図るため改正はやむを得ないが、より一層の経営努力をし、下水道事業を着実に推進されたい」と意見を述べ、賛成した。

『ゆうあい21』は、「市民に十分な説明と理解活動を実施し、経営に当たっては徹底した経費節減に努められたい」と意見を述べ、賛成した。

『公明党』は、「健全な水環境を維持するため欠くことのできない施設であり、下水道を負の遺産として残さないためにも経営の健全化に向けて取り組まれたい」と意見を述べ、賛成した。

『無所属・日本共産党』は、「市民の税負担が増え、今後経済が不透明な状況の中で公共料金の引き上げはすべきではない」とし、反対した。



八帖終末処理場

年間の議会活動 平成20年中

本会議開催状況

会議名	会議日数	質問者数		討論者数
		代表質問	一般質問	
3月定例会	7日	5人	—	6人
6月定例会	6日	—	23人	13人
9月定例会	6日	—	17人	6人
12月定例会	6日	—	22人	6人
定例会小計	25日	5人	62人	31人
11月臨時会	1日	—	—	3人
臨時会小計	1日	—	—	3人
本会議合計	26日	5人	62人	34人

本会議審議状況

市長提出議案	179件
条 例	65件
予 算	55件
決 算	4件
そ の 他	55件
議員提出議案	9件
条 例	3件
意 見 書	3件
そ の 他	3件
請 願	20件
選 挙	4件

委員会開催状況

委員会名	会議日数
常 任	
総 務 企 画	11日
福 祉 病 院	12日
環 境 教 育	11日
経 済 建 設	11日
特 別	
行 財 政 改 革 検 討	7日
東 岡 崎 駅 周 辺 整 備 検 討	6日
公 共 交 通 対 策	6日
地 球 温 暖 化 対 策	6日
議 会 基 本 条 例 設 置	1日
決 算 算 算	5日
議 会 運 営	11日

# 議案・請願・陳情審議結果

12月定例会

(○賛成、×反対)

議案・請願・陳情審議結果	採決結果	会派別賛否		
		自民清風会	ゆうあい21	公明党
市長提出議案				
基本構想	可決	○	○	○
財産の取得（職員健保会館）	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定（シビックセンター）	〃	○	○	○
損害賠償の額を定めること	〃	○	○	○
市道路線の廃止	〃	○	○	○
市道路線の認定	〃	○	○	○
損害賠償の額を定めること	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定（吹矢駐車場、籠田公園地下駐車場、康生地下駐車場）	〃	○	○	○
損害賠償の額を定めること	〃	○	○	○
個人情報保護条例の一部改正	〃	○	○	○
事務分掌条例の一部改正	〃	○	○	○
職員の公益的法人等への派遣に関する条例の一部改正	〃	○	○	○
公会堂条例の廃止	〃	○	○	○
市税条例等の一部改正	〃	○	○	○
平成21年度分の固定資産税及び都市計画税の納期に係る臨時特例に関する条例の制定	〃	○	○	○
美術館条例の一部改正	〃	○	○	○
福祉の村条例の一部改正	〃	○	○	○
児童育成センター条例の一部改正	〃	○	○	○
国民健康保険条例の一部改正	〃	○	○	○
心身障害者医療費助成条例及び母子家庭等医療費助成条例の一部改正	〃	○	○	○
食品衛生に係る営業の基準に関する条例の一部改正	〃	○	○	○
公害防止施設整備資金助成条例の廃止	〃	○	○	○
都市公園条例の一部改正	〃	○	○	○
市営住宅条例の一部改正	〃	○	○	○
地域汚水処理施設条例の廃止	〃	○	○	○
下水道条例の一部改正	〃	○	○	○
農業集落排水処理施設条例の一部改正	〃	○	○	○
体育館条例の一部改正	〃	○	○	○
看護師等修学資金貸与条例の一部改正	〃	○	○	○
市民病院の料金に関する条例の一部改正	〃	○	○	○
平成20年度一般会計補正予算（第4号）	〃	○	○	○
平成20年度下水道特別会計補正予算（第2号）	〃	○	○	○
平成20年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	〃	○	○	○
平成20年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	〃	○	○	○
平成20年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	〃	○	○	○
平成20年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	〃	○	○	○
平成20年度額田北部診療所特別会計補正予算（第1号）	〃	○	○	○
平成20年度病院事業会計補正予算（第3号）	〃	○	○	○
平成20年度水道事業会計補正予算（第2号）	〃	○	○	○
人権擁護委員の推薦	同意	○	○	○
請願				
介護職員の人材確保を求める意見書の提出	不採択	×	×	×
水害のない暮らしを求めること	採択	○	○	○
早急な水害対策を求めること	〃	○	○	○
早急な水害対策を求めること	〃	○	○	○
市議会だよりに請願・陳情の審査結果等の詳細を掲載することを求めること	不採択	×	×	×
市議会だよりに請願・陳情の審査結果等の詳細を掲載することを求めること	〃	×	×	×
市議会だよりに請願・陳情の審査結果等の詳細を掲載することを求めること	〃	×	×	×
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充	〃	×	×	×
75歳以上高齢者の医療費無料化を求めること	〃	×	×	×
陳情				
「協同労働の協同組合法」早期制定を求める意見書の提出	意見を付して議長に報告することとした。			
原爆症認定基準の抜本的改善を求める意見書の提出				
自主共済制度の保険業法の適用除外を求める意見書の提出				
国籍法第3条改正に関して慎重審議の意見書提出をもとめること				

# 一般質問

12月定例会では、22人の議員が市政について質問しました。  
なお、質問項目中、太字の項目を掲載しています。

- 柴田 泉議員（自民清風会）
  - ・新一般廃棄物中間処理施設
  - ・財政
  - ・防災
  - ・市道丸岡線
  - ・基幹バスの試行運行
- 加藤 学議員（ゆうあい21）
  - ・学校給食
  - ・放課後子ども教室推進事業
  - ・防災対策
- 職員の定員管理の適正化
- 安形 光征議員（自民清風会）
  - ・額田地区の小学校統廃合
- ・額田地区市民ホームの建設
- ・鳥獣害対策
- 築瀬 太議員（自民清風会）
  - ・災害時要援護者支援
- ・いのちの教育アクションプラン
- ・新学習指導要領への移行措置への対応
- 小児難病患者への支援
- 三宅 健司議員（ゆうあい21）
  - ・豪雨災害対策
  - ・防犯灯
  - ・自転車利用
  - ・雇用対策
  - ・職員のコンプライアンス
- 神谷 寿広議員（自民清風会）
  - ・大型集中豪雨に備える治水体制
  - ・矢作川右岸堤防リフレッシュ道路
  - ・都市計画道路橋日本郷線
  - ・北野幹線水路の上部利用構想と整備
  - ・矢作北小学校の校舎増築
- 村越 恵子議員（公明党）
  - ・平成20年8月末豪雨
  - ・福祉の村の見直し

## 市政のここが聞きたい

- ・中小企業への緊急保証制度
- ・藤川地区整備計画
- ・妊産婦健診の完全無料化の実施
- ・鳥獣被害防止特措法に基づく鳥獣被害対策の推進
- ・消防団退団者の消防活動
- 畔柳 敏彦議員（公明党）
  - ・定額給付金
  - ・しょうがい者福祉
  - ・市内地域の諸課題
- 野村 康治議員（自民清風会）
  - ・市長の今後4年間の施政方針
  - ・教育現場の先生不足
  - ・北部学校給食センターの残菜処理
  - ・災害対策
- 吉口 二郎議員（自民清風会）
  - ・平成20年8月末豪雨
  - ・レジ袋の有料化
  - ・乳がん検診
- 内田修ジャズコレクション
- 米村 賢一議員（ゆうあい21）
  - ・平成20年8月末豪雨
- 鈴木 雅子議員（無所属・日本共産党）
  - ・平成20年8月末豪雨の教訓を生かした水害対策
  - ・市長の公約
  - ・不況の波から雇用・経営を守る施策
- 井手瀬 絹子議員（公明党）
  - ・水に親しむ環境整備
  - ・第3子以降の保育料無料化の拡大
  - ・団塊世代の地域活動支援
  - ・手話通訳者等派遣事業
  - ・妊婦のシートベルト着用
- 加藤 義幸議員（自民清風会）
  - ・幼稚園の運営
  - ・消防団員家族慰安会
- ・平成20年8月末豪雨とその対策
- ・道路整備
- 柵木 誠議員（無所属）
  - ・災害に強く安全・安心なまちへの整備と組織
  - ・子供の育成事業
  - ・南部地域に高校の新設
  - ・力又一練習場の整備
- 近藤 隆志議員（自民清風会）
  - ・8月末の豪雨災害と今後の対策
- 梅村 順一議員（自民清風会）
  - ・図書館交流プラザ
  - ・中央図書館
  - ・東岡崎駅周辺整備事業
- 中根 薫議員（無所属・民主党）
  - ・福祉の村「希望の家」
  - ・本市NPO法人調査
  - ・シティーマラソン
  - ・通称「滝バイパス」の供用開始
- 柴田 敏光議員（ゆうあい21）
  - ・水害対策
  - ・地震対策
- 野澤 幸治議員（ゆうあい21）
  - ・観光行政
  - ・裁判員制度
  - ・子ども科学館
- 木全 昭子議員（無所属・日本共産党）
  - ・災害に強いまちづくり
  - ・暮らしと福祉を守る施策
  - ・市民の命を守る医療体制
- 小野 政明議員（自民清風会）
  - ・市長の政治姿勢と財政
  - ・水害対策
- 万有製薬跡地の問題
- ・市民病院
- ・行政改革

### 基幹バスの試行運行

■柴田 泉（自民清風会）

#### 問

平成20年11月より開始された基幹バスの運行により、通院時間の短縮が図られ地域住民から感謝の声を聞いている。しかし、額田支所・市民病院線は沿線人口の少なさから廃止を心配する声もあるが、今後の考え方は。

#### 答

本市では、公共交通のネットワークとして市内バスの骨格となる基幹バス路線の実験運行を行っており、既存のバス路線と連携した持続可能なバスネットワークを構成することが大きな目的である。本市の総合交通政策では、都心地域と郊外中山間地を結ぶ路線のうち、基幹バス路線を優



基幹バス（岡崎拠点快速バス）

先に確保すべき路線として位置付けており、バス事業者及び行政の責任で維持及び確保していくことを目指している。

## 防災対策

■加藤 学 (ゆっあい21)

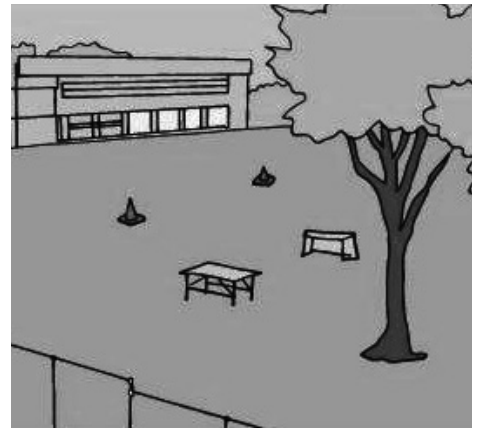
**問** 六名地域は、高台の地域からるの流水を受ける地形となつていますが、排水は占部川しかなく、冠水の常襲地帯である。その対策として六名貯留池が建設されたが、ここ数回の豪雨には対応できていない。現在実施されている対策や新規事業の検討について伺う。

**答** 占部川においては、今後おおよそ5年間を目標として広田川合流点から針崎ポンプ場までの区間の改修と、橋の架け替え及び遊水地の緊急的な整備に向けて、県と協議を進めている。また、下水道事業では、雨水幹線整備を河川事業と連携して進めるほか、新規事業として矢作川への放流の可能性を含めた対策を考えていきたい。

## 額田地区の小学校統廃合

■安形 光征 (自明清風会)

**問** 地域コミュニティの拠点でもある額田地区の小学校の統廃合における跡地の活用は、



どのような要望が出されているか。また、その要望に対する本市の考えを伺う。

**答** 平成22年から廃校となる3校の跡地については、千両町小学校は子ども科学館の分館に、大雨河小学校は額田歴史資料館に、鳥川小学校は鳥川ホタルの里の拠点施設などに活用する要望が挙げられている。利用可能な施設は引き続き有効に使っていく方針であるが、財政状況のほか施設の必要性や効率性及び地域の均衡などを検討し結論を出していく。また、管理運営に当たっては学区の協力が不可欠であり、協力体制の構築を地域に要請していく。

## 災害時要援護者支援

■築瀬 太 (自明清風会)

**問** 8月末豪雨で亡くなられた2名の方は、いずれも災害

時要援護者と言われる方であった。災害発生時は地域住民同士の支え合いが重要と考えることから、今後の具体的な災害時要援護者支援制度の推進方を伺う。

**答** 見守りや救助のための必要最小限の情報を記載した災害時要援護者情報を、本人の同意を得たうえで個人情報に充分配慮して地域支援者に配付している。しかし、地域への配付の了承は、11月1日現在で災害時要援護者全体の58%にとどまっている。今後

も該当者への郵送による制度の案内や障害者手帳取得者への窓口説明などにより周知するとともに、地域支援者との連携を深めて支援制度の拡充に努めていく。

## 防犯灯

■三宅 健司 (ゆっあい21)

**問** 住宅地の増加とともに防犯灯の設置要望も増えているが、設置状況は。また、最近開発された発光ダイオード(LED)の防犯灯は、指向性が高く路面のみを効率的に照らすため、設置台数を減らしても従来と同じ防犯効果を維持できると聞かすが、導入について伺う。

**答** 平成20年度の防犯灯の設置は800灯近くになる予定で、総数は2万4千灯を超える見込みである。LED型防犯灯は、



本宿自転車駐り場

高価であるが、電気料金が安く、長寿命であるため、20ワット蛍光灯に代わる防犯灯として注目されている。本市では、試験的に本宿自転車駐り場に1灯を設置しており、今後、他市の導入状況を調査し研究していく。

## 大型集中豪雨に備える治水体制

■神谷 寿広 (自明清風会)

**問** 西部地域の住民は、水害のない安心して暮らせる生活環境を望んでおり、県営湛水防除事業の早期完成が地域住民の切実な願いである。そこで、平成27年度に完成が予定されている本事業の動きについて伺う。

**答** 中小洪水時にも被害が発生することから、この事業に対する地元からの早期完成の要望は承知しており、先般の8月末豪

雨で発生した被害も踏まえ、県当局へ地元の切なる声を届けて要望してきた。その結果、地元関係者や議員の熱意が通じ、完成予定が2年間前倒しされるとの報告を県から受けた。今後も完成予定の25年度までに確実に事業が遂行されるよう強く県に要望していく予定である。

## 福祉の村の見直し

■村越 恵子 (公明党)

**問** 障害者自立支援法の施行により、障害児・者の施設サービスは平成24年3月末がサービステキ移行の期限となる。障害者福祉計画の目標達成に向け、福祉の村の施設の再配置や見直しの時期が来ているが、検討状況は。

**答** 福祉の村は、施設の老朽化や利用者ニーズと合わない



福祉の村

などの状況から、そのあり方について社会福祉審議会の障害者福祉専門分科会に諮問している。市からは、発達障害などの新たな福祉ニーズに対応できるよう医療機関、肢体不自由児通園施設、知的障害児通園施設などからなる「子ども発達センター」の設置などを含むたき台が示してあり、21年3月末に答申を受ける予定で作業を進めている。

## 定額給付金

■畔柳 敏彦 (公明党)

**問** 世界経済は百年に一度の危機に直面していると言われ、日本経済に深刻な影響を与えることは必至である。国は27兆円規模の経済対策を発表し、2兆円規模の定額給付金を生活対策の目玉としているが、本市の支給対象への所得制限の考えを伺う。

**答** 想定外の経済状況の中で、製造業を中心に派遣社員の契約打ち切りなど、本市だけでなく各地でいろいろな問題が発生し、市民生活への影響が大変心配されている。今年度内に交付が予定されている定額給付金の所得制限などについては、全国市長会を始め関係団体で議論がされてきた。本市としては、経済対策の公平性の観点から所得制限を設けない方針で準備を進めたい。

## 市長の今後4年間の施政方針

■野村 康治 (自民清風会)

**問** 市民病院では医師不足により診療制限をしていた消化器科と耳鼻咽喉科を12月1日から解除したが、今後の医師の確保について方策を伺う。

**答** 医師の確保は医師が働きたいと思う魅力ある病院になることが重要と考え、医療を行いやすい環境を整備し、その結果を評価できるようにすることを戦略として、給与等の改善や研修体制の見直しなどを行ってきた。平成21年度研修医採用予定14人に対して41人の応募があったことは、これらの対策が高く評価されたものと考えている。今後も医師の労働環境の整備や採用条件の改善とともに、臨床研修指定病院として多くの研修医を受け入れ、必要な医師の育成を行っていききたい。



市民病院

## 内田修ジャズコレクション

■吉口 一郎 (自民清風会)

**問** 内田修ジャズコレクションが、貴重な文化財産として「りぶら」に展示されたことは高く評価している。今後は生涯学習の拠点として、また岡崎らしさの発信のために活用していくべきと考えますがその方策は。

**答** 現在、若い世代の演奏者の育成を目的とする子どもジャズワークショップの開催が決まっている。また、ジュニアジャズオーケストラ結成の希望もあると聞いており、「りぶら」のホールなどの利用促進と併せて岡崎の新しい音楽活動を支援していきたい。更にジャズコレクションの積極的なPR活動の展開など、ジャズの街岡崎を全国に発信できるように、総合的かつ効果的な手法を検討していく。

## 平成20年8月末豪雨

■米村 賢一 (ゆつあい21)

**問** 稲熊地区は東海豪雨で大きな被害を受けたことから内水排除ポンプが設置されたが、今回の豪雨では排出先の小呂川から逆流し効果がなかった。伊賀川の整備完了まで5年以上かかることから、直接伊賀川へ排出できる内



平成20年8月末豪雨

水排除ポンプをもう1カ所設置すべきと考えるが見解は。

**答**

東海豪雨での浸水被害を受け、平成14年度に排水用として小呂川へ2台と伊賀川に1台の内水排除ポンプを設置した。その後、小呂川のポンプは増強及び改良を行ったが、今回の豪雨では排出先の小呂川で溢水が発生した。今後は排出先を伊賀川へ変更することやポンプの増設について、来年度の出水期前までに対応できるように県と協議を進めている。

**市長の公約**

■鈴木 雅子(無所属・日本共産党)

**問**

先の市長選挙において、他の候補は後期高齢者医療制度の廃止や75歳以上の医療費無料化、農産物の価格保障による食の安全などを掲げて3万9270票を得たが、この結果に対する考えを伺う。また、公約実現に係る財政計画についても伺う。

**答**

選挙は結果。信任を得たことで自信を持って市政を進めていきたい。また、今は災害の後であり、現段階での優先事項は災害対策と考えている。「入るを量りて出ざるを制す」の精神で、公約した事業だけに限らず全ての事業について、歳入に応じた計画変更など柔軟に対応していくことが重要であり、財源的裏付けを検討しながら年次計画を立てて進めていきたい。

**水に親しむ環境整備**

■井手瀬 絹子 (公明党)

**問**

奈良井公園のせせらぎ水路は、市内で唯一、小さな子どもが安心して水遊びができる場で、今年の夏も連日多くの子ども連れが楽しんでいた。水遊び場は子どもの遊び場としてなくてはならないものと考えているが、既存の公園や今後設置する公園への水遊び場の整備について考えを伺う。



奈良井公園せせらぎ水路

**答**

せせらぎ水路は、ワークシヨップの意見を整備計画に反映して平成18年度に設置した。同様なものとして、六名公園において21年の春より水遊びができる施設として利用してもらえるよう改修を進めている。また、新しく設置する公園においては、公園の規模や設置場所の条件、管理上の問題などを総合的に判断し決定したい。

**平成20年8月末豪雨とその対策**

■加藤 義幸 (自民清風会)

**問**

今回の豪雨では、広田川に合流する砂川、占部川、上地新川の流域内で、かつてない浸水被害が発生した。特に、降雨時に付近の流水が集中する上地新川の流域では少しまとまった雨でも住宅が浸水する恐れがあるが、今後の対策について伺う。

**答**

広田川流域の緊急的な整備を進めるために、県と2市3町で構成する検討会が平成20年10月に設立され、対策を協議している。上地新川については、16年度に県道岡崎幸田線から上流区間の改修を終え、現在は下流区間の河道予備設計を進めている。県道衣浦岡崎線との交差点付近の浸水対策については、今後進める河川

改修も考慮し、効果的な対策について検討を進めていく。

**子供の育成事業**

■柵木 誠 (無所属)

**問**

幼児の遊具使用による事故がよく報道されているが、本市における遊具の安全点検方法及び新しく公園を設置する場合の取り組み姿勢について伺う。

**答**

公園遊具の点検は、国の安全確保に関する指針に基づき専門業者に委託している。部材の欠損などを目視や触診で確認する年4回の日常点検と、木づちなどを使い打診して腐食状況を確認する年1回の定期点検を行っており、この点検で不具合が見られた場合は専門技術者による精密点検を行っている。また、新たな公園を設置する際には、人の動きや安全領域に配慮した配置計画を行うとともに、安全性を確保するた



公園遊具

め材質や構造などが国の指針に適合している遊具を設置している。

**8月末の豪雨災害と今後の対策**

■近藤 隆志 (自民清風会)

**問** 小呂川の流量制限ボックスの撤去に関する本市の考えは。また、今回の集中豪雨で被災された稲熊地区の住民の不安を解消できるよう、要望の出ている川の浚渫など水害対策を早急に講じる必要があると考えるが、対応について伺う。

**答** 伊賀川中流部区間の改修に併せて合流点ボックスも改修されることとなったため、浸水対策は大きく改善されると考えている。また、地元住民から要望が出ている中州に堆積している土砂の浚渫や河川浄化事業で設置された石の撤去については順次行っていくきたい。更に、堤防のかさ上げなどについても現地を調査し、異常があれば必要な対策を講じていきたい。

**中央図書館**

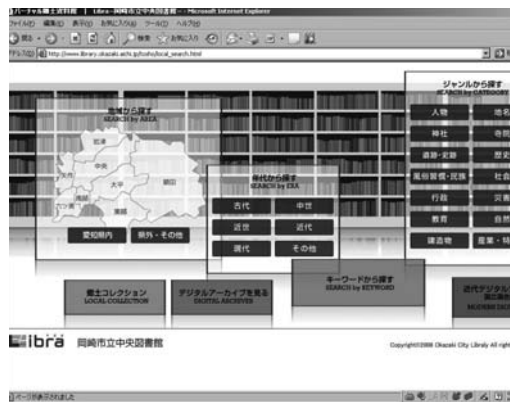
■梅村 順一 (自民清風会)

**問** 近年著しい情報社会化が進み、インターネットが図書館を代替する能力や機能を備えてきている。また、文部科学省の生涯学習審議会図書館専門委員会か

らは図書館の情報センター化構想も出されたが、インターネットを利用し電子図書貸し出す電子図書館に対する本市の考えを伺う。

**答**

新図書館では郷土資料の古文書をデジタル化し、ホームページに掲載している。更にビジネス支援の一環として新聞記事や法令関係、科学技術情報などを館内のパソコンで公開し、電子図書館のサービスの一部を開始している。今後、電子図書館を導入する自治体も増えると予想され、電子図書館としてのあるべき姿や運用などを研究していく。



バーチャル郷土資料館(中央図書館ホームページ)

**シティーマラソン**

■中根 薫 (無所属・民主党)

**問** 東京都や名古屋市だけでなく、豊橋市や豊田市でもシティーマラソンが盛大に開催され

ている。多くの参加者が集まり活性化が期待されることから、本市での開催の考えは。

**答**

本市では11月におかざきマラソンを開催し、1月には新春乙川マラソン及び市民駅伝競走大会を開催している。各競技大会は、岡崎警察署や競技団体を初め、多くのボランティアの方々の支援と協力によって長年続いてきた歴史ある大会であり、おかざきマラソンでは昨年に比べ1.5倍の参加者があった。新規のマラソン大会の開催や既存大会の距離の延長は多くの課題があるため、今後はハーフマラソンの大会が開催できるか調査し検討したい。

**水害対策**

■柴田 敏光 (ゆうあい21)

**問** 8月末豪雨により、すり鉢状の地域である大平町建石・新寺地域及び緑丘2丁目地域等は、排水経路の不整備や集水不足のため雨水をけ切れず床上浸水などの被害が発生した。地域によって水害対策は異なると考えるが、その対策について伺う。

**答** 大平地域は既存の排水路や道路側溝等で雨水処理を行っている。今後は、他の浸水地区と同様に浸水状況の調査結果を検証し、その対応策を検討していく。また、緑丘2丁目と美合町老婆懐

**提言を!**

○市議会だよりのご感想・ご意見・ご要望などがありましたら、ぜひお知らせください。あて先〓裏表紙参照 電話〓23・6381

**詳しく知りたいかたへ**

本会議の詳しい内容を知りたいかたは、東庁舎2階市政情報コーナーか図書館、または各支所にある会議録をご覧下さい。12月定例会の会議録は、3月初旬に配本予定です。なお、岡崎市ホームページにも会議録を掲載しています。  
(http://www.city.okazaki.aichi.jp/)

**議事を傍聴してみませんか**

本会議の傍聴は本会議場入口で、また委員会は委員会室入口で、住所・氏名をご記入いただくだけです。お気軽にお越しください。次の3月定例会開催予定は最終ページのとおりです。

地域は雨水がたまりやすい地形のため、応急的な対策として集水ますや横断側溝の設置を考えている。今後の恒久的な水害対策は、浸水状況を検証し、地域に適した対策を講じていく。



### 観光行政

■野澤 幸治 (ゆうあい21)

**問** 中岡崎駅前にある無料駐車場は、通勤客の長時間駐車により昼間の駐車がほとんどできない。また、利用者のごみの放置も後を絶たないため、地元住民が清掃奉仕をしているのが現状である。地元からは駐車場有料化の要望が出ていると聞くが、市の対応について伺う。

### 答

中岡崎駅の駅前広場はJR・名鉄・本市の3者で維持管理を行っているが、駐車場が無料

であることからさまざまな問題が持ち上がり、地元から利用規制の要望が出ている。この広場の公共性や利便性の機能を維持しながら節度ある利用を図るため、民間事業者者に運営を任せ有料駐車場として平成21年3月中旬をめどに整備していく。

### 災害に強いまちづくり

■木全 昭子(無所属・日本共産党)

**問** 小呂川は上流部の開発により遊水地がなくなり、8月末豪雨では川の許容能力を超えて溢水し被害が発生した。県は伊賀川の改修を決めているが、これと同時に小呂川の改修も行うべきと考えが見解を伺う。

### 答

小呂川は県の河道改修計画と併せ効率的な浸水対策を



伊賀川と小呂川の合流点

行うとともに、旧食肉センター跡地の利用についても検討していく。また、今回の豪雨で制御盤が浸水した稲熊8丁目の内水排除ポンプも、平成21年度のポンプ増設工事とともに出水期までにかさ上げ工事を行っていく。更に、伊賀川合流点から準用河川ミタライ川合流点までの河床の石の撤去についても浚渫工事に含めて21年度から順次実施していきたい。

### 万有製薬跡地の問題

■小野 政明 (自民清風会)

**問** 万有製薬跡地に建設が予定されている高齢者生きがい施設の整備目的と事業効果は。

### 答

高齢者の生きがいづくりを充実させ、質の高い暮らしを実現していくため、施設には就労、社会参加、生きがい、健康づくりの四つの機能を導入して、より充実した効果的なサービスの提供を行っていききたい。効果としては、シルバー人材センターや老人クラブの組織を活用した事業展開が可能となり、組織の活性化や活動内容の充実を図る事ができる。また、高齢者の健康づくりを始め生きがい対策の事業を総合的に実施することにより、医療費などの社会保障費の抑制効果が期待できることから、十分精査・検討し事業を進めたい。

### 議会を傍聴して

○各議員からの質問事項とその回答は、市として大変重要な事項が多く、市民が積極的に参加すべきと思いました。ミクスの放送もありますが、傍聴する人が少ないと感じました。

(男性 70歳)

○今回初めて傍聴しましたが、自分たちの選んだ議員さんがどのような考えで今後取り組んで行くのかがよくわかりました。

(男性 39歳)

○議員からの真剣な提案・質問に対し行政側から明確な答弁がなされていた。岡崎市の将来が子ども達にとって明るいものであることの確信を得ました。もっと市政に関心を持つ市民が増えることを期待したい。私も他の人を誘って、今後とも市政を見守りたい。

(男性 60歳)

○議員の皆さんが市民の不安や疑問を率直に質問していただいていること、行政の皆さんが誠実にお答えいただいている努力に敬意を表したいと思えます。今後、世界金融恐慌の影響で、税収等不安もありますが、健全な財政運営をお願いします。

(男性 33歳)

## 3月定例会予定

2月26日(木)	請願・陳情締切
3月2日(月)	開会・市長提案説明
3日(火)	代表質問
4日(水)	代表質問
5日(木)	平成21年度議案説明
9日(月)	平成21年度議案総括質疑・委員会付託
11日(水)	平成20年度議案説明・質疑・委員会付託 省略・討論・採決
13日(金)	経済建設委員会
16日(月)	福祉病院委員会
17日(火)	環境教育委員会
18日(水)	総務企画委員会
24日(火)	議会運営委員会
26日(木)	委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

- 代表質問の通告内容は、開会日までにホームページに掲載します。(アドレスは下段に掲載)
- 開会、代表質問、閉会の模様は、ケーブルテレビミクスで中継する予定です。
- 各会議の開催時刻は午前10時の予定です。

## 採 択 請 願

- 水害のない暮らしを求めることについて
- 早急な水害対策を求めることについて
- 早急な水害対策を求めることについて

- 理由**
- ・緊急整備5カ年計画の早期完成と対応策の早期実施が重要である。被災された方々への支援策を講じられたい。
  - ・短期、中期、長期の対策を講じるものに集中的な予算を組み、住民が安心して生活できる対策を実行されたい。
  - ・市民が安心して暮らせるように、他の行政サービスにも配慮しながら、可能なものから国や県とも連携して早急に進められたい。

## 議会を傍聴される方へ — 傍聴席への入場が 便利になりました —

議場傍聴席へは従来1階から階段を上って入場していただいていたおりましたが、西駐車場及び3階連絡通路の完成に伴い、連絡通路から議場傍聴席へ通じる入口が設けられました。

この入口は議会開会中のみ使用できるもので、3月定例会から使用を開始いたします。



本会議や委員会の傍聴は、入口で住所・氏名をご記入いただくだけです。お気軽にお越しください。

(本会議場は西庁舎3階、委員会室は西庁舎2階です。)

◎議会の日程、傍聴、請願・陳情などに関する事項は、議事課(☎23-6378)までお問い合わせください。

### 議会ダイヤル ☎

自民清風会	☎23-6390
ゆうあい21	☎23-6394
公明党	☎23-6396
無所属	☎23-6397
無所属	☎23-6385
議会事務局	☎23-6377

**編集後記**

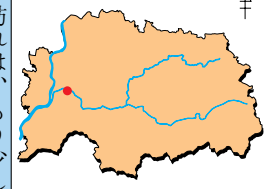
新年を迎え、早くも1カ月が過ぎました。昨年の市議会議員選挙で当選した新議員による初めての定例会が開かれ、初当選議員5人を含む22人の議員が一般質問に立ち、平成20年8月末豪雨災害関係を始め、市政全般について市側の見解をいただきました。

また、市長提出議案や請願・陳情の審査では、市民生活にかかわりのある諸問題が活発に論議され、その内容などを分かりやすく掲載し、お届けいたします。



### 編集後記

◎冬の澄み切った青空の下、穏やかに流れる乙川に架かる殿橋の周りには、さまざまな種類の鳥たちが日差しを求めて戯れています。春の訪れは、もう少し先になりそうです。(写真は平成19年1月撮影)



### 表紙の写真 ... 康生町 ...